

# 専修大学LLだより

## 目次

### 特集 マルチメディア外国語

インターネットでフランス語を学ぶ .....	2
高価な電子辞書はお買い得 .....	3
インターネットで学ぶ英語サイト紹介 .....	3
マルチメディアでスペイン語学習 .....	4
インドネシア語ホームページ紹介 .....	5
外国語の習得はマルチメディアが1番! .....	6
インターネットで中国語を表示する .....	6
インターネットに思う .....	7
LL インフォメーション .....	8

春期休暇中のLL 自習室利用



LL 研究室

## インターネットでフランス語を学ぶ



「インターネットでフランス語を勉強したいけど、どうしたらいいの？」それは、すごく簡単に、

<http://www.yahoo.co.jp/>

のYahooJapanを開いて、検索ウィンドウに日本語で「フランス語」と入れるだけでよいのです。するといくつかのサイトが紹介されます。たとえばCarrefour B(ネットワーク・ソフィア)は翻訳家の嶋崎 正樹さんのページで、アドレスは

<http://www.st.rim.or.jp/~mksmzk/>。

「仏語歳時記」という上級むけの表現集や「フランス社会の現在」というニュースのページがあります。

<http://leo.aichi-u.ac.jp/~mtagawa/>

は、愛知大学の田川光照先生のホームページで、初心者むき。

<http://lapin.ic.h.kyoto-u.ac.jp/togo.html>

の東郷雄二先生(京都大学)のホームページもやはり初心者むきです。

でも一番しっかりしているのは名古屋大学の飯野和夫先生のページで、<http://lang.nagoya-u.ac.jp/~ino/toktei95.htm>。

これは、インターネットを使って、フランス語に関する情報を手に入れたいと思ったら、いちばん最初に参照すべきサイトでしょう。

[1. インターネットへのアクセス](#) という技術情報からはじめて、[2. インターネット上の一般的なフランス語圏関係情報](#) [3. インターネットからのフランス人文学研究](#) [4. 人文学研究へのパソコンのその他の利用法](#) とじつに懇切丁寧です。

パソコンやインターネットは、一人で勉強するためのツールですから、とりあえずサイトを開いて、自分にあったページを見つけてください。

日本語ではなく、いきなりフランス語で行きたい人には ClicNet: Français langue étrangère et langue seconde がスバラシイです。

<http://clicnet.swarthmore.edu/fle.html>と入力して、サイトを開くと「動詞の活用」「作文」「文法」「綴り」など、いろんなテーマ別に支援サイトが紹介されています。

もちろん <http://fr.yahoo.com/> で「YahooFrance」を開けば、いきなりフランス語世界です。音楽を聞いたり、ビデオ映像を見ることもできます。

フランス語でパソコンをやってみようという人には『フランス語でパソコン、Ouf!』(共著、駿河台出版社、1997年)という本がおすすめです。

ところで専修大学のフランス語ページは、

<http://gkk.senshu-u.ac.jp/~higuchi/> というアドレスを入力すると「マルチメディアフランス語」のページが開きます。

まだ正式に公開してはいませんが、どうぞ見てください。仏検や留学の情報、担当の先生方の紹介もあります。

文学部 樋口 淳(フランス語)



LL テープ ライブ リ- CD-ROM 教材

## 高価な電子辞書はお買い得

辞書が急速に進化している。めざましい内容の改訂とともに、電子化され、使用効率の向上が工夫されてきた。昨年出版された『ケンブリッジアメリカ英語辞典』がわずかな



値段の差で、音声付きの全文収録 CD-ROM を添付したかと思えば、先月(11月)発売の『オックスフォード現代英英辞典』第6版がアメリカ発音を併記した。さらに、日本の大学生に最も多く使用されている『ロングマン現代英英辞典』には、先日から内容をすべて収録した CD-ROM が付録となった。辞書の電子化は電子ブック版・CD-ROM 版に始まり、CD-ROM インストール型・電子辞書・ウェブサイト型と改良されてきた。

10年位前に登場した電子ブックや、コンピュータのハードディスクで使う辞書も確かに便利ではあるが、現代では、真空管のテレビを経験している人間にとっても、立ち上がりに時間がかかったり、アプリケーションの切り替えが面倒に思える。また、多くの電子辞書は5行画面である。

ところが、昨年発売された以下の2機種電子辞書には、私はかなり満足している。量販店でも3万円を超えるので、学生には高い買物ではあるが、学習の効率を考えるとお買い得だと思う。カシオ XD-2500 には『ジーニアス英和・和英辞典』と『広辞苑』が入っていて、瞬時に立ち上がる。重要単語には発音機能があって音質もよい。セイコーインスツルメンツ SR8000 は、立ち上がりに2秒かかるものの、研究社の『新英和・和英中辞典』に『ロングマン現代英英辞典』、『ロジェ・シソーラス』が収録されている。どちらも13行という小型大画面で240g。薄くて軽い。まさに「携帯辞書」。どこでも

片手でひける。スペルがわからなくてもスペルチェックがあり、成句・用例・解説は簡単にサーチできる。訳中にわからない単語があっても、辞書間のジャンプ機能で再入力する必要はない。英語の論文を書くときも、左手で辞書をひきながら、右手でワープロが打てる。漢字を調べるにも、細かい文字は拡大できる。電子辞書を薦める所以である。

文学部 三浦 弘(英語)



### インターネットで学ぶ英語サイト紹介

無料で英語を学べるサイトを紹介します。ここで紹介したサイト以外にも様々な語学力強化に関するサイトがあります。Yahooなどの検索用ホームページで自分に合ったHPを探し出し英語力のアップに繋げて下さい。

#### <TOEIC 模擬試験が受けられるサイト>

TOEIC Friends Club

<http://www.toeic-fc.ne.jp/>

#### <TOEIC ミニテストが受けられるサイト>

Yahoo!TOEIC デイリーミニテスト

[http://edu.yahoo.co.jp/school/test/toeic\\_daily/](http://edu.yahoo.co.jp/school/test/toeic_daily/)

License World オンライン模擬試験

<http://www.licenseworld.co.jp/>

#### <メールマガジンと学習のサイト>

ハロー通訳アカデミー

<http://www.hello.ac/lounge/index.html>

#### <勉強方法を教えてくれるホームページ>

英語はこう攻める!

<http://village.infoweb.or.jp/fwif2034/>

#### <リスニングを学べるサイト>

ALC Network Station

<http://www.alc.co.jp/ans/>

#### <その他>

www.SNOOPY.co.jp

<http://www.snoopy.co.jp>

## マルチメディアでスペイン語学習—自分 分に合った勉強法の発見！

新しい外国語に挑戦するための時間がなかなか取れないが、このように技術が進歩した中で勉強したらさぞかし楽しく勉強できるだろうな、と思わずにはいられません。身近にたくさんのメディアがあり、色々な勉強法を提供しているのですから。私がスペイン語を勉強し始めたころには、スペイン語の本を手に入れるのも容易ではなかったのです。現在は多くの本がすぐにメールを使って注文することもできるし、インターネットでアクセスすれば世界各地の新聞が読める、またそれぞれの外国語で多くのページがあり、外国語の練習から始まり、文化的情報等を手に入れるのもあっという間でしよう。自分にやる気さえあれば自分にあった方法で勉強ができるのです。スペイン語においてマルチメディア学習法を紹介しますが、その前に、心にとめておいてほしいことがあります。多くのメディアがあり、いろんなことができることは喜ばしいことではありますが、それに迷って何をしたいか分からなくなっているなんてことはありませんか。授業での勉強楽しいですか。とても楽しいと答えてくれる人がたくさんいればうれしいのですが、実際はそうでもないかもしれませんね。でも、悲観しないでほしいと思います。外国語の勉強にはたくさんの方がいます。本を読むのが好きな人、映画を見るのが好きな人、またゲーム感覚で何かできないかな、って考えている人、また専門の勉強の中で外国語に再び興味を持った人、色々でしょう。こんな色々な要求に答えてくれるのがメディアを用いた学習かも知れません。

インターネットを用いたスペイン語学習はどうでしょうか。例えば、

<http://www.el-castellano.com/> にアクセスすると、スペイン語の学習に役立つ様々な情報を得られます。また、<http://cvc.cervantes.es/portada.htm> では lectura のページで読解のトレーニングを楽しみながら、また Pasatiempo のページでは語彙、文法事項を勉強できますし、DELE に関する情報等のページがあります。さらに、[www.bbk.ac.uk/Departments/SpanishTecla](http://www.bbk.ac.uk/Departments/SpanishTecla) では 2 週間ごとにスペイン語のテキストを問題、解答付きで配信しています。これも問題をやりながら、その時点で話題になっていること等をスペイン語で読み、問題を行うという形で一人でも勉強を進めていけそうです。また、スペインの新聞のページ [www.elpais.es](http://www.elpais.es)、[www.elmundo.es](http://www.elmundo.es)、[www.w.abc.es](http://www.w.abc.es) にアクセスすると毎日スペインの新聞も読むことができます。スペインの新聞なんて難しくてと思うかもしれませんが、でも自分の興味あること、例えばサッカーに興味があればスポーツのページにアクセスしてみると、新たな発見があるかもしれません。興味があれば辞書を引きながら読んでいくでしょう。また日本での出来事、国際的な出来事などスペインではどのように伝えられているかをチェックしてみてもいいでしょう。日本の新聞でその記事をよく読んでおけば、スペイン語が少し難しくても何が書いてあるのかは把握できるでしょう。それを積み重ねていってごらん下さい、知らず知らずのうちに語彙力、読解力がアップすることでしょう。日本の新聞にも目を通すようになり一石二鳥かもしれませんね。

さて、少し LL テープライブラリーにある CD-ROM 教材に目を向けてみましょう。El Clave del Sol は読解

のテキストを中心に、分からない単語の説明、色々な場所の雰囲気等に親しめるように作られた教材です。単に読むだけではつまらない人にとっては写真、また、勉強に疲れたときに行えるゲーム（語彙習得）などがあり、飽きずに勉強が進められそうです。お話はマドリッドに住む女の子が仕事でバルセロナに行ったときのエピソードのようです。ゲームは1人でも2人でも行うことができるようになっていきますので、友だちと一緒に勉強したいと考えている人に向いているでしょう。また、はじめてのスペイン語は、語彙習得が目的ですが、説明がすべて日本語です。どの練習もゲーム性に富んだものなので、楽しみながらできそうですし、学習を記録しておくこともできますから、進度もチェックできるようになっています。最後は、ビデオと組んでいるものを紹介しましょう。コロンビアの芸術学校で繰り広げられるエピソードを中心としたビデオプログラム - Somos así, En sus marcas,につけられた CD-ROM です。これらも語彙の学習、実際の会話を模したような練習が盛り込まれていますので、楽しく勉強できることと思います。ビデオを見ながら、そのストーリーを追い、時には CD-ROM で語彙等をチェックしていくのもいいでしょう。まず最初はビデオ、そのあとで CDROM、またはその逆と、自分の好きに勉強をしたらよいでしょう。

このように授業を離れて、少し何のために自分がスペイン語を勉強しているかを考えると何をやりたいかが見えてくるでしょう。そして自習をはじめてみてはどうでしょうか、そしたら、授業にも積極的に参加することができるようになるでしょう。

経営学部 大森 洋子（スペイン語）

## インドネシア語ホームページ紹介

### (1)専修大学インドネシア語クラスホームページ

大学のインドネシア語クラスでは全国で唯一のホームページ。インドネシア語作文集、旅行記、自己紹介、コンクール、単語テスト。掲示板では最新のインドネシア情報を連日掲載。

<http://www.sainet.or.jp/~npsasaki/newpage1.html>

### (2)"Sanggar Bahasa Indonesia"

教科書『インドネシア語の基礎』の著者のHP。インドネシア語の単語、文法に関する「SBI 自選集」は中級以上は必読。14種の「テストいろいろ」で単語力をチェックできる。リンク集も完備。

<http://member.nifty.ne.jp/sanggar/newpage1.htm>

### (3)ノース・イリノイ大学 東南アジア研究センター

「インターネットでインドネシア語学習」の先駆的HP。視聴覚教材としても優れ、自発学習教材として勧める。他に、タイ語、タガログ語、ヴェトナム語、ミャンマー語、ラオス語がある。

<http://www.seasite.niu.edu/indonesian/>

### (4)Foreign Language Vocabulary Quizzes

インドネシア語基本883語テストで、5択問題。一問答える度に正解率が出る。

[http://www.aitech.ac.jp/iteslj/v/in/basic\\_words.html](http://www.aitech.ac.jp/iteslj/v/in/basic_words.html)

### (5)INDONESIA INTERNET GATEWAY

インドネシアに関する各種メディアのリンク集としては最も充実。

<http://plaza8.mbn.or.jp/indonesia/>

商学部 佐々木 信子(インドネシア語)

## 外国語の習得はマルチメディアが一番！



ことは様々なメディアを通して使われるが、それに応じて外国語の

学習も現在では様々なメディアを通して学ぶようになってきた。リーディングは紙というメディアを使うのが一般的であるが、コンピュータのモニターに表示された物をプリントアウトせずにも速く読むことが要求されるようになった。最近の TOEFL はコンピュータを使ってマルチメディア化されたので読みにくい文字を速く正確にモニター上で読むことが要求されている。

e-mail を読む事と the New York Times をインターネットで読むのは私の日課の始まりである。使えそうな記事はその場でワープロにコピーできない。

音声もコンピュータで録音したり聞いたりできるが、最近では音質も善くなりステレオできけるようになってきた。RealAudio を使うとアメリカを始め世界のニュースやトーク番組が聞けるし、テレビ放送も見る事ができる。

CD-ROM 教材も廉価になってきたので個人学習が非常にやりやすい。DVD を見る事ができるコンピュータも多く出てきたので、英語を見ながら外国の学習ができる。

このように様々なメディアを使った外国語学習ができるようになったので、外国へ行く前にかかなりの学習が個人的にできるようになった。このようなマルチメディアを活用しなければ宝の持ち腐れであるし、マルチメディアを使いこなせることが1人1人の学生に求められている時代である。

経済学部 岩淵 孝 (英語)

## インターネットで中国語を表示する

近年、様々な中国語による情報をネット上で得ることができるようになりました。しかし、そのままでは文字化けしてしまい、うまく表示できません。これは、標準では中国語のフォントがないためです。以前は大変でしたが、現在では Web 上で無料でフォントを、さらには不十分なものとはいえIMEも得ることが出来ます。

まず、その入手方法を説明します。簡体字中国語 (GB) のダウンロードは、ブラウザでマイクロソフト Global IME ([http://www.microsoft.com/windows/ie\\_intl/ja/ime.htm](http://www.microsoft.com/windows/ie_intl/ja/ime.htm)) のページから、Microsoft Global IME for Chinese(Simplified)-with Language Pack を選択し、指示に従いダウンロードします。(繁体字中国語 Big-5 は traditional を選択) インストールは、そのダウンロードしたファイルのアイコンをダブルクリックするだけですから簡単です。次にブラウザの設定です。Explorer の場合、インターネットオプション (O) を選択し、「全般」のタブシート下にある「フォント」を選択します。

簡体字の場合は、「言語セット」を簡体字中国語、フォント MS Hei または MS Song に設定します。さらに、「表示」メニューから「エンコード」を選択し、「その他」の簡体字中国語を選びます。繁体字の場合は、フォントを MingLiu にします。これで、中国語の表示は可能になりました。中国語の主页 (ホームページ) をいろいろ見てみてください。まず、中国語の yahoo (<http://cn.yahoo.com/>) を手がかりにしてみるのがよいでしょう。

ひとつ、時事中国語とそのヒヤリングのための教材となる頁を紹介しておきます。NHK の衛星第二深夜に中国中央電視台の7時のニュース (新聞聯播) の一部を放送していますが、中国中央電視台のHP (<http://www.cctv.com.cn/news/xwlb/>) ではその原稿を見ることができます。コンピュータによる中国語については、漢字文献情報処理研究会『電腦中国学』(好文出版) という参考書があります。その他不明な点があれば、LL 研究室で相談に応じますので、ぜひお越し下さい。

法学部 黨 武彦 (中国語)



## インターネットに思う

世の中には「Eメール」とやらがあるそうで・・・などと、三年前までは世捨て人を気取っていた。今でも「ケータイ」とか「愛?モード」などには、似たような対応をしているものの、研究会やシンポジウムの打ち合わせに使われるEメールの速さと便利さに、ほとほと感心している。ドイツとのやりとりなど、以前ならば、航空便でも往復二週間は必要だったし、あるいは8時間もの時差と高い料金を気にしながらの電話しかなかったのだから、隔世の感がある。ドイツで出版される新作の小説を読む研究会では、若い院生あたりが、聞いたこともない新人作家の詳細な情報を披露してくれる。これも数年前までは、出版社に手紙を出して資料請求をしたのだが、今ではインターネットでホイホイと調べることが出来る。

秋の独文学会でも「メディア論」なるシンポジウムが設定されていた。野次馬気分で覗いてみると、各パネラーのいずれもが、二言目には「ゲーテンベルク以来」と繰り返していた。もちろん1445年頃のゲーテンベルクによる活版印刷術のことで、中世的な口承文芸や写本文字から、大量の印刷文字情報への転換は、単なる媒体の変化のみならず、我々の知の有り様に大きな変化を呼び起こし、それが近代という大きな時代変化への先取りにもなっていたわけである。

そうすると現在、20世紀末のコンピューター画面上に現れる電子情報の出現は、500年も続いた、紙に印刷された文字を有り難がっていた時代を急速に終わらせているというわけである。もっとも、活版印刷の普及にも関わらず、書き文字が完全には無くならなかったのと同様、紙印刷文字が完全に無

くなるとは思えないが、「情報革命」という呼称は、それにふさわしい対応を我々に迫っていることは確かだろう。

外国語教育においても、紙文字からの離脱は明瞭である。最近発行される教科書の多くは、明らかに「話し言葉」へと重心を移動させている。遠く離れた相手の顔を見ながらの電子会議も、すでに実用レベルにあるのだから、「読む」ことを中心とした従来の外国語教育は、大きく様変わりせざるをえない。

ところで「話す」とは、知識だけの問題ではない。第一に「発声」とは全身的な行為であるし、第二に具体的な相手を前にした「対話」行為は、その場の状況と自他の関係性の全面的な構築である。そこでは、語られる一語一語が、全体の文脈の中で常に新たに再構築され続ける。そこで必要なのは、常に自らの姿勢を再編成させ続ける柔軟な構えである。相手との差違を測り、その差違を差違として受け入れること、それこそが知的な態度と言うものではないだろうか。

重要なのは、差違を産み出すベースとしての共通性が、言語を支える個人の特性を逆説的に浮きだたせるということだ。そこを取り違えると、個人を暴力的に統合する制度を特定の方向に固定化する結果に陥ってしまう。固定化された制度意識をイデオロギーと呼ぶ。つまり「虚偽意識」である。我々の文化も社会も、それらを実質的に支える個人の自由な発想を抑圧する方向に進むのが、「虚偽」の「虚偽」たる所以で、「歴史」とか「道徳」とかが、「国民」なる意識の下で語られる場合、そのあたりが、かなり明瞭ではないだろうか。外国語を学ぶとは、より開かれた文化・社会への態度を醸成することにあるのだから。

経済学部 寺尾 格 (ドイツ語)



# LLインフォメーション

## 春期休暇中のLL自習室利用

春期休暇期間の自習室利用は下記のとおりとなります。長期間の休暇ですので、じっくりと語学学習に取り組むには最適な時期だと思います。LL自習室を大いに活用して下さい。

### 生田校舎

1月30日(火)～3月31日(土)

平日 9:00～16:30

土曜日 9:00～11:30

**\*1月16日～29日と入試期間は閉室となります。詳細は掲示でお知らせしますので注意して下さい。**

### 神田校舎

2月1日(木)～3月31日(土)

平日 9:00～18:45

土曜日 9:00～12:00

15:00～16:45

**\*1月16日～31日と入試期間は閉室となります。詳細は事前に掲示でお知らせします。**

## お願い

LL研究室主催のセミナーを受講し、各検定にトライした方、結果はいかがでしたか？

「受かりました！」の声を待っています。また、後から受験しようと思っている人へのアドバイス等がありましたら是非LL事務室スタッフに教えて下さい(セミナーを受講していない方でも結構です)。LL自習室を利用している人達で情報を交換し、更なるステップアップに繋がましょう！

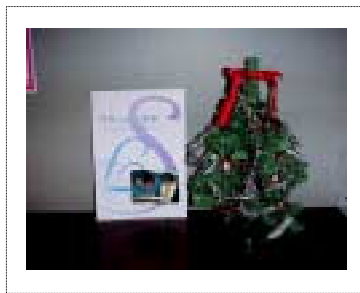
**皆さんからの声をお待ちしています**

## 編集後記

12月の木枯らしと一緒に、LLだより10号をお届けします。クリスマスのイルミネーションの向こうに、オリオンがひっそりと冬の夜空を飾っています。

きらびやかなインターネットの光と膨大な情報の渦の中で、思わずアップアップしているうちに、何だか時間ばかりが過ぎ去って行きませんか？能率を上げるために、それぞれの先生方に、外国語学習に役立つ、お薦めホームページ等のうちくをお願いしました。是非とも覗いてみて下さい。これは第一弾で、いずれ第二弾のお勧め情報も掲載する予定です。

ところで大学は、すでに来年度のための準備に追われています。時間割り等の作成と共に、LL教室のコンピューター化のための細かな交渉も始まっています。来年9月には、新たな自習室とコンピューター教室がお目見えするはずです。ご期待下さい。(Te)



次回のLLだよりの発行は2001年4月予定です。お楽しみに！！

**専修大学LLだより 第10号**

発行日 2000年12月12日  
(平成12年)

編集発行 専修大学LL研究室  
室長 大森 洋子

〒214-8580 神奈川県横浜市多摩区東三田2-1-1

URL:<http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>